



▲勇壮な演武を披露する宮城県の伊達武将隊。左から足軽・山太、茂庭綱元、伊達政宗、足軽・草介

街角インタビュー

物産展へ実際に来られたお客様に感想を聞いてみました

熊本市在住
大里 久美さん

震災以降、東北の被災地は復興の足がかりで、東北の物産展も増えてきました。実際に来てみると、想像以上にいいものが多いです。東北の物産展は、東北の文化や歴史を知ることができて、とてもいいです。

熊本市在住
蘭年田 安奈さん

被災地の復興に少しでも貢献したいという思いで、東北の物産展に参加しました。東北の物産展は、東北の文化や歴史を知ることができて、とてもいいです。



▲山形県のブースで「ナポレオンチェリー（さくらんぼのシロップ漬け）」の商品説明を受ける来場者

熊本初お目見えの商品ズバリ！震災展、募金コーナーも設置



▲宮城県名物の牛タンなどを紹介する佐藤琴乃さん（左）と杜の都親善大使



▲気仙沼産のふかひれを使った商品を手取る松村祥史（右）と参議院議員（左）



▲震災写真パネル展に見入る田中孝人吉市長（右）、江井芳夫南相馬市経済観光交流課参事兼課長（左）。人吉市は主に南相馬市の復興支援を担当している



東北物産を買って復興を応援！！

新市街で2月2日まで復興支援イベント

サンロード新市街を使った「がんばろう東北！くまもと応援市場」。2月2日まで44日間開催され、東北の名産品約1千アイテムを販売する

東北3県マメ知識

▲南相馬市で毎年7月に開催される国指定重要無形民俗文化財「野馬追（のまおい）。1千年以上の歴史を誇り、500騎の甲冑騎馬武者が参加して甲冑競馬、神旗争奪戦などを繰り広げる勇壮な行事。喜多方市のご当地グルメでは醤油ベースのスープに太めの平打ち縮れ麺の喜多方ラーメンが有名。

▲仙台市の夏の風物詩として開催される仙台七夕まつり。豪華絢爛なくす玉、吹流しなどの竹飾りが繁華街に吊るされる。土産品の定番は白身魚の身を丹念に叩き、塩、卵、酒を足して笹に焼上げた「笹かまぼこ」。軽く焼き直すか、熱湯に浸して温め、わさび醤油かしょうが醤油で食べると美味。（写真提供：宮城県観光課）

▲2011年に世界文化遺産に登録された「平泉の文化遺産」の一角、中尊寺。国宝建造物第1号の金色堂をはじめとする多くの文化遺産が伝えられ、東日本唯一の平安仏教美術の宝庫と称されている（写真提供：中尊寺）。また、熱いつゆにくぐらせた一口大のそばを次々に食べ続ける「わんこそば」の知名度も高い。



▲仙台から来熊した伊達武将隊・伊達政宗の口上に続き、テープカットをする出席者。左から松岡泰輔地域情報センター会長、松本蒸治県民百貨店社長、田中孝人吉市長、幸山政史熊本市長、松村祥史参議院議員、品川良照熊本信用金庫理事長、安田二郎熊本市新市街商店街振興組合会長、蒲島都夫熊本県知事、安田公寛天草市長、佐藤琴乃さん（左）と杜の都親善大使、くまモン

熊本市中央区のサンロード新市街で、12月21日から2月2日までの44日間、東北応援物産フェアが開催されている。熊本信用金庫などが中心になって実施しているもので、東北以外の地域で本格的な同様の規模の東北応援物産フェアが開催されるのは初めて。

「がんばろう東北！くまもと応援市場」と銘打った同イベントは、経済産業省中小企業庁管轄の全国商工会連合会による地域振興を目的とした事業の一環、東日本大震災に係る復興支援として、東北の地域特産品などの営業支援を創出することにより、中小企業・小規模事業者の商品展開力・販売力の向上を図るのが目的で、売上は全て東北の出品企業や生産者の売り上げになる。

期間中はサンロード新市街全体を使い、福島・宮城・岩手など東北6県の各県ゾーンで総業・漬物・菓子など約1千アイテムを販売。震災写真パネル展・復興支援募金コーナーなどを設置しているほか、週末ごとに各種イベントを実施する。

また、出展企業の商品は楽天・auショッピングモールの上でも通信販売し、さらなる売り上げ増を図る一方、同物産展のオリジナルホームページも作成する。

がんばろう東北！

東北震災復興支援事業

くまもと応援市場

日時 2014 2/2 (日) まで 11:00~18:00

場所 サンロード新市街一帯

※元日と最終日の2/2は15:00までとさせていただきます。

みんなで東北を応援しよう！

東北のオススメの逸品がやってきた！

イベントの売上は、全額東北の生産者の皆さんへ！

熊本市中心商店街等連合協議会

熊本信用金庫

県民百貨店 地域情報センター